

身体拘束最小化への取り組みと同意について

当院では、患者様の尊厳とQOL（生活の質）を尊重し、その人らしい安心した療養生活を支える医療・ケアを基本としています。患者様の自由を制限し、身体的・精神的な負担となり得る身体拘束は、原則として行いません。つきましては、以下の内容についてご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 当院の基本方針

- 原則として身体拘束は実施しません。
- リスクへの対応：転倒・転落、点滴・カテーテル等の自己抜去といった安全上のリスクに対しては、環境調整、見守りの強化、個別的なケアの工夫により対応します。
- 協働：多職種が連携し、患者様の安全と尊厳の両立を目指します。

2. 想定されるリスクについて

身体拘束を行わない方針により、以下のリスクが発生する可能性があります。当院はリスクの最小化に努めますが、完全に防ぐことは困難であることをご了承ください

- | | |
|---------------------|---------|
| ✓ 転倒・転落 | ✓ 徘徊、離棟 |
| ✓ 点滴ルートやカテーテル類の自己抜去 | ✓ 症状の悪化 |

3. 患者様・ご家族様へのお願い

患者様の安全な療養生活を支えるため、状況に応じて以下のご協力をお願いする場合があります。

- ✓ 患者様の普段のご様子や、安心できる関わり方についての情報提供
- ✓ 付き添いや見守りへのご協力

4. 緊急時における一時的な身体拘束について

患者様の生命や身体の安全を守るため、医療チームが緊急的に対応が必要と判断した場合は、やむを得ず一時的に身体拘束を行うことがあります。

事前の同意が困難な場合：緊急性の高い状況では、事前にご説明や同意を得ることが困難なまま実施されることがあります。

事後の対応：実施後、状況が落ち着き次第、速やかにご家族等へご説明し、改めて「身体拘束への同意」をいただきます。

原則：身体拘束は必要最小限の範囲および時間にとどめ、可能な限り早期解除に努めます。

5. 責任の所在とご確認いただきたい事項

- **医療機関の最終責任：**当院における医療・看護上の判断および対応は、医療チームの責任のもと、**医療機関の管理者（院長）の最終的な責任**として行われます。これは、緊急時の身体拘束を含む安全確保のための対応についても同様です。
- **免責事項：**身体拘束を行わない方針により生じた事故について、医療者に過失がないと判断される場合には、当院は責任を負いかねます。
- **ケアの変更：**安全確保のため、医療チームの判断によりケア方法の変更や追加対応を行うことがあります。

同意内容 私は、上記内容について十分な説明を受け、理解した上で、当院の「原則として身体拘束を行わない方針」に同意します。また、緊急時には医療者の判断により一時的に身体拘束が行われ、その後に説明および同意取得が行われることについても了承します。

令和 年 月 日 患者氏名： _____ 代諾者氏名： _____ （続柄： ）